

大畑恵 令和7年8月度特別作品

庭に歴史

大畑恵

庭に歴史、と言うと少し大袈裟かもしれませんが、私にとっては歴史そのものの家です。この家に引越して、子供らは庭を走り回り賑やかに過ごしました。そして、一人づつ順番に家を出て行き、庭はいつの間にか寂しくなりました。私は少しずつ耕し、花や木を植え始めました。まず薔薇、クリスマスローズ、百合などいろいろな花。次にブルーベリー、桃、梅など実の生る木。そうやって少しずつ増やしていくうちに、庭は花や木で一杯になりました。庭を眺めて俳句を詠んでいます。同じような句で進歩はありません。でも、今年も薔薇が咲いた、ブルーベリーが青く色づいたと季節を楽しませてもらっています。この庭で過ごして、もう四十二年になりました。小さかった木々が見上げるようになり、過ぎていった年月を感じます。古希を過ぎ、いつまで庭仕事が続けられるか分かりませんが、元気でいられたらと願っています。

息子らの声の聞こゆる春の庭

松雪草零れ種から芽吹きけり

春蘭の庭隅に咲き二十年

赤椿落ちたる花も美しく

木の蔭のいつもの場所にえびね蘭

赤き牡丹白き牡丹と咲きにけり

薔薇散つて寂しくなりぬ庭の先

庭仕事の手を休め聞く杜鵑

卯の花を道行く人の見上げをり

百合の花植えつばなしの花の色

《作品鑑賞》

すみれ

「庭の歴史」とても共感できてひと花、一木に思い出がっぱあることでしょう。私の庭もその様な思い出が溢れていて、草取りも人に任せられない程でした。きっと恵さんもそうかなと思います。読んでいただきました。

松雪草零れ種から芽吹きけり

また隅に咲く春蘭やえびね蘭まで植えておられる恵さんの植物愛に惹かれ、庭にお伺いしたいと思う程です。

春蘭の庭隅に咲き二十年

木の蔭のいつもの場所にえびね蘭

四季折々の花に心を寄せ楽しまれている様子がうかがえ、これはあの時植えた花だと歴史を語る木々の様子が目に浮かびます。

赤き牡丹白き牡丹と咲きにけり

薔薇散つて寂しくなりぬ庭の先

それぞれの句に花の味わいがよく現れて素敵な作品に出合せて頂き、これからも庭仕事を楽しまれる恵さんにエールを送りたいと思います。